

ワイン投資ファンド
時が価値を刻むといわれる
夢ある長期投資のきわみ



Steve Vidler / PPS通信社

通常募集のワイン投資ファンド運用実績

ファンド名	評価基準日	運用状況	運用開始日 (運用期間)
ワイン投資ファンド (収穫年: 2001年もの)	2008.3.31	168.91%	2002/04/30 (5年11カ月)
2003 ワイン投資 ファンド	2008.3.31	140.37%	2003/04/30 (4年11カ月)
2004 ワイン投資 ファンド	2008.3.31	140.29%	2004/05/31 (3年10カ月)
2005 ワイン投資 ファンド	2008.3.31	145.33%	2005/06/27 (2年9カ月)
2006 ワイン投資 ファンド	2008.3.31	128.11%	2006/06/29 (1年9カ月)
2007 ワイン投資 ファンド	2008.3.31	106.28%	2007/06/28 (9カ月)
2008 ワイン投資 ファンド	2008.6.30	100%	2008/06/30 (0カ月)

プライベートワイン投資ファンド運用実績

ファンド名	評価基準日	運用状況	運用開始日 (運用期間)
ラ・クロワッサンスワイン 投資ファンドシリーズI	2008.7.31	168.85%	2003/02/03 (5年5カ月)
2004PB ワイン投資 1号ファンド	2008.7.31	167.57%	2004/02/02 (4年5カ月)
DRC ワイン 投資ファンド	2008.7.31	172.59%	2005/03/11 (3年4カ月)
コレクターズ・ ファンド	2008.4.30	158.80%	2005/11/21 (2年5カ月)

◆欧州が認める本格ワインファンド

ブドウの作柄に影響されるように思われるが、ワインづくりの行程の中にさまざまなヘッジが働き安定運用が可能になる

「ワインは年々消費されますから、確実に在庫は減少していきます。つまり銘醸ワインの希少性は徐々に高まり、需要が供給を上回り続けるため、結果的に価格が上昇するのです」
つまり、時が価値を刻む投資商品というわけだ。その証拠に過去に募集が行われたファンドの運用実績を見ると(図表

ワ

インファンドなどという「資産運用というより「趣味」という印象があるかもしれないが、それは大きな誤解だ。ワイン自体、ヨーロッパでは古くから蓄財方法の一種として浸透しており、マーケットも存在している。国内で唯一ワインファンドを運営しているヴァン・ネットの北田朝雪代表取締役社長は、投資対象としてのワインの魅力をこう語る。



北田朝雪
Kitada Tomoyuki
代表取締役社長
●問い合わせ: ヴァン・ネット
03-5436-1860
http://www.vin-net.co.jp/

(参照) 安定的に価値が上昇傾向にあり時を経たものは年平均利回りに換算すると8~10%だ。運用成果以外にもワイン通にとってうれしいメリットがある。投資残高によってオリジナルワインがプレゼントされたり、「ワインの夕べ」に参加できたりするのだ。現在募集中のファンドはないが、「ブルゴーニュのレアワインなど超優良銘柄に限定した運用資産2~3億円規模のファンドを検討中」という。